

学園ニュース

富山大学

No.33

編集 学園ニュース編集委員会 発行 富山大学

昭和55年7月12日

教養部長就任にあたって

教養部長 梅原隆章

今度ふたたび10年ぶりに教養部長に選任されましたが、「教養部」という富山大学々生の約半数の学生をあずかる重要な部署を充実発展させる責務をになう為には、教養部は申すに及ばず、全学の御協力と御加護を願いたすものであります。

私は日本の転換期の大変動の節目を歩んできたような人間で、京都一中に入学の時から中学生は全部カーキ色の軍服まがいの制服に変わる年でした。金沢の四高時代は断髪令が強制されて、学校教練の強化されるころであり、京大は徴兵延期が短縮されて二年半の大学生活で九月卒業となり、十月には直ちに一兵卒として金沢師団輜重（しちょう）隊へ入隊することになり、卒論は遺言状を執筆するような緊迫した状況の中で書き上げた思い出があります。終戦は九十九里の日本防衛の最終ラインである礮兵団の輜重兵中尉で、終戦の詔勅を椎柴送信所で聞き、上官の田中静老方面軍司令官の割腹自決を無電のレシーバーで受信した時の記憶が残ります。

富山大学では、その創設主体となった富山高校の最終時の教官として採用され、まもなく新制大学の創立があつて、文理学部に併任され、経済学部新設の教授会にも出席していた思い出があります。大学創立当時の複雑な事務とガリバン切りの手伝いを夜おそくまでやったこともあります。図書館が大切であるというので、文理学部の図書館長をやっていたので、東京で大学図書館のIFELに特訓をうけるために出席して、新制大学には充実した図書館を持たないと大学としての資格がない、と懇々と教育され、司書教育を受講してきました。教養部の新設のとき、文理学部からの移

籍を必ずしも喜ばない教官も多いようでしたので、私は求めて新設の教養部に移ることを申し出て、十余名の教養部教官の中に加わりました。今年四月に英語の小森先生が定年退官されたとき、富山高校以来引きつづいて富山大学にいる者が少なくなったことが話題になり、数年後に私が定年退官する頃には、この転換期を体験したものが全員、五福キャンパスから消えてゆくことになることを再認識したことです。

教養部になってからの大事件は、いわゆる大学紛争の激化でした。そして、その最中に学生部長に選任され、嵐の真只中に立たされ、横田学長は御病気で静養しておられた時期でしたから、もめごとは万事学生部にもちこまれ、評議会は学内では開けず、学生部長室は学生の占拠封鎖、各学部教室も学生がバリケード封鎖をしていて、大衆団交には矢面に引き出され、その間に入学試験やら何かと割込んできて、今から考えるとよくも弱い体力でもちこたえることができたなあと、自分ながら驚くほどです。そのあと、引きつづいて教養部長に選任されまして、紛争の沈静と教養部の授業充実とに微力をつくしました。それで、自分の足跡をふり返ってみると転換期の切れ目を体験しながら、先輩同僚に教示されて生かされてきたのだと、有難く感謝しています。

全国大学の一般教育課程のあり方、教養部の充実と将来計画、高校カリキュラムの大変革に基づく対応など、今また、時代の転換期に入ったと思います。国立大学教養部長会議に出席して、教養部の将来が真剣に検討されていることを「見聞知」してきました。

教養部は富山大学を母校とする人々の大学色という

か、すぐれた性格を形成する場であります。どうぞ全学あげて「教養部」に好意と協力とをよせていただけ

ますように心から希念いたします。

新 任 教 官

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| ○浅井 亨 教授 (人文学部) 55.4.1 | 担当：雪氷学 |
| 昭45. 3 北海道大学大学院文学研究科修士課程
修了 | ○中川 邦明 助手 (理学部) 55.4.1 |
| 担当：言語学 | 昭55. 3 東京大学大学院理学系研究科博士課程
修了 |
| ○都竹通年雄 教授 (人文学部) 55.4.1 | 担当：電波物理学 |
| 昭49. 3 東京都立大学大学院人文科学研究科修
士課程修了 | ○酒井 英男 助手 (理学部) 55.4.1 |
| 担当：国語学 | 昭55. 3 大阪大学大学院基礎工学研究科後期博
士課程修了 |
| ○鈴木 敏昭 助教授 (人文学部) 55.4.1 | 担当：地殻構造学 |
| 昭53. 3 東京大学大学院人文科学研究科博士課
程単位取得退学 | ○梅村智恵子 助教授 (教養部) 55.4.1 |
| 担当：言語学 | 昭47. 3 京都大学大学院文学研究科修士課程修
了 |
| ○山口 幸祐 講師 (人文学部) 55.4.1 | 担当：心理学 |
| 昭55. 3 東京都立大学大学院人文科学研究科博
士課程単位取得退学 | ○鈴木 孝志 講師 (教養部) 55.4.1 |
| 担当：国文学 | 昭53. 3 大阪教育大学大学院教育学研究科修士
課程修了 |
| ○神前 進一 助手 (人文学部) 55.4.1 | 担当：英語 |
| 昭55. 3 大阪市立大学大学院文学研究科後期博
士課程退学 | ○濱口 脩 講師 (教養部) 55.5.16 |
| 担当：人文地理学 | 昭49. 3 広島大学大学院文学研究科修士課程修
了 |
| ○草薙 太郎 助手 (人文学部) 55.4.1 | 担当：英語 |
| 昭55. 3 東京大学大学院人文科学研究科修士課
程修了 | ○駒城 鎮一 助教授 (教養部) 55.6.1 |
| 担当：英文学 | 昭36. 3 同志社大学大学院法学研究科修士課程
修了 |
| ○角森 正雄 助手 (経済学部) 55.4.1 | 担当：法学 |
| 昭55. 3 大阪大学大学院法学研究科修了 | ○渡辺 國昭 教授 (トリチウム科学センター)
55.5.1 |
| 担当：倒産関係法 | 昭43. 3 北海道大学大学院工学研究科修士課程
修了 |
| ○杉田 吉充 教授 (理学部) 55.4.1 | 担当：トリチウムの反応性の研究 |
| 昭28. 3 東北大学大学院理学研究科 (旧制) 退
学 | |
| 担当：結晶物理学 | |
| ○関口 健 助教授 (理学部) 55.4.1 | |
| 昭47. 12 東北大学大学院理学研究科博士課程退
学 | |
| 担当：数理統計学 | |
| ○對馬 勝年 助教授 (理学部) 55.4.1 | |
| 昭44. 3 北海道大学大学院理学研究科修士課程
修了 | |

サケのトランスフォーメーション

人文学部教授 浅井 亨

古事記の「蝦夷の住む越の国」にほど近い富山へ、「ヒグマの住む蝦夷ヶ島」から「えみし語」に関心を持ち、かつ長年「アイヌ語」を学んできた者が移り、富山港で北洋船団を眺めたのも何かの縁でしょう。もっとも神通川の上流で生まれ、育った私にとっては鮭が故郷の水を求めて回遊の果てに古き母なる川にそ上したようなものと思っています。

比較言語学から記述言語学の全盛時代を経て、言語学は今や、理論中心から実験の科学へ、野外の学問から応用自然科学の部門へとアメーバのように手足を伸ばした怪物となり、理学部や医学部さらに工学部に言語学が置かれても不思議でなくなりました。富大人文

学部新設の言語学コースも博言学の因習を打ち破り、語学・文学科でなく、哲学や歴史学、考古学、人文地理学、文化人類学などといっしょになっています。そこに当大学のユニークさとフィールドワークの言語学が期待されていることを感じ、中国語中国文学と並んで朝鮮語朝鮮文学のコースが存在することと合わせて大いに胸をふくらませています。

富大では一般言語学を予定していますが、故郷の川にそ上したからには新しい卵も産んで言語障害者の情報交換に少しでもお手伝いのできる専門家を育てたいと考えております。すべてが第一歩からですので、厳しく、暖かいご支援をお願いいたします。

ごあいさつ

人文学部教授 都 竹 通年雄

私は国語学をしております。これからも、その研究の続きおよび仕上げに努力いたします。

私は、東アジア・内陸アジアなどの言語資料をわずかず集めつつありますので、「何々方言ないし何々語の例がほしい。」というようなご用のときは、ごえんりよくどうぞ。

さて、環境破壊によって21世紀には人類は危ないと言われる今日、それに対するわれわれの学問の力の無さを感じます。それにつけても、「人間とは何か？」がまだよくわかっていません。あらゆる分野の科学がそれぞれの分野で「人間とは何か？」をさぐるものが、さし迫って必要と考えます。こういうことで、学際的

研究が興ることを望みます。たとえば、植物に対して無関心の人がふえると環境破壊が進むと考えられますので、「植物と人間、とくに、植物に無関心な人間」という題で学際的研究が興ることを望みます。植物に無関心な人の遺伝・生い立ち・思想・文芸作品（例、三島由紀夫の）、そういう人が関心持つ動植物の種類・範囲などについて学際研究がされることを望みます。また、自然に対して無関心な人を、どうすれば自然に対して関心を向けさせられるかについても学際研究がなされることを望みます。

（人文学部3階 312号室。電話内線 301番）

富山に来て

人文学部助教授 鈴木 敏 昭

3月の半ば、初めて富山にやって来た時のことですが、信越線の長野と妙高高原のあいだに小さな20メートルほどのトンネルがありまして、そこを境にして雨が雪になり、積雪の量はぐんぐん増えはじめ、車外風景の変貌の激しさに目を奪われました。愛知で生まれ育った私には一面の雪景色なるものが大変に珍しく、列車が海岸線に出た時には雪もやみ、地面の雪も殆ど

残ってなかったのですが、何となく別の世界にでも踏み込んだかのような印象を受けました。

そうした印象が強かったせいか、富山駅に降りてふと売店の方に目をやった時、そこに見慣れた名古屋のスポーツ新聞が並べられていたのには、もう一度びっくりさせられました。距離の上では、富山も東京もそんなに違いはないはずなのですが、何だか半分、故郷

に帰ってきたような気がしたものです。

現在、富山の生活にも大分慣れ、研究室の体裁も少しずつ整ってきました。言語学コースは新設であり、

前途には色々な出来事が待っていることでしょうか、先輩諸兄姉の励ましを仰ぎながら、その発展に尽したいと願っております。

偶感 — 私自身のための断章 —

人文学部講師 山 口 幸 祐

富山という初めての土地に住み、その風土や文化について雑然とした感想はあるものの、今はまだそれに想いを巡らす余裕はほとんどない。今後の生活の中心が大学の研究室になることにむしろ深い感慨を覚える。そして今、その感慨は森鷗外『花子』に描かれた一場面を髣髴とさせる。

フランス留学中の久保田某という学生は、オオギュスト・ロダンと日本女性花子との通訳をするために、ロダンの処に初めて訪れた。短い挨拶を交した後、ロダンは聞くのである。

——「Avez-vous bien travaillé?」学生ははっと思った。ロダンといふ人が口癖に云ふ詞だと、兼て噂に聞いてゐた、その簡単な詞が今自分に対して発せられたのである。「Oui, beaucoup, Monsieur!」と

答へると同時に、久保田はこれから生涯勉強しようと、神明に誓ったやうな心持がしたのである。——

おそらく偉大な仕事をする人間の発する言葉というもの、それにふさわしい重味と響きを伝えるものなのであろう。私自身、地方の大学を出て東京の大学院に学びはじめた時、そのような雰囲気の中に居たような記憶がある。私は一人の久保田某であった。そして事情は今も変わりはない。しかし今の私には「Monsieur」と答える相手はいない。理在の私の研究室は、主の居ない空白の風景を呈している。だから、もう一人の私が現実の私に常に語りかけるのである。「Avez-vous bien travaillé?」私は「Oui, beaucoup!」と答え続けていかなければならない、観潮楼主人鷗外がこの言葉を終生好んだひそみになっていて、と考えている。

富山に来て

人文学部助手 神 前 進 一

30年間住み慣れた大阪をあとに、富山へ赴任してはや3ヶ月が過ぎようとしている。今になってふり返ると、富山との縁は少なからずあったように思われる。私が12年間学んだ大阪市立大学地理学教室はフィールドワークの学風をもつが、それは戦後間もない頃に砺波・五箇山や大和平野での地域調査によって築きあげられたものであった。諸先生や先輩から、米を持参しての砺波調査の苦労話を聞き、30年前の色あせたフィールドカードから砺波のイメージをかきたてられもした。私の専攻する人文地理学とりわけ集落地理学は、砺波平野の散居村を舞台に日本では発展したと言っても過言ではない。私も過去に3度、砺波・五箇山を訪

れる機会をもったが、このたび村落研究のフィールドとしては願ってもない富山への赴任が決まり、実地調査への抱負に胸をときめかせている。地方の時代と言われる現在、大都会を脱出して人口30万人の地方都市の良さを発見し、住みやすさを実感する毎日である。車で1時間もあれば県下の大部分の地域へ往き来のできることは、フィールドワーカーとしてはありがたいが、春のフェーンなど富山の天気には面くらうことが多かった。暑苦しい夏と雪国の冬を体験しないことには富山を理解できないと言われる。大阪弁を貫き通すでもなく、富山弁を解するでもない私ではあるが、「旅の人」なりの視点で富山を見ていきたいと思う。

緊 張

人文学部助手 草 薙 太 郎

東京での緊張した生活と、郷里四国の高松でののんびりした生活の交替という十年続いた習慣に別れを告

げ、さて富山に来てみて、始まったばかりのこの土地での生活をどう形容すればいいのだろうか。

富山と高松とは街の大きさは大して変わらない。けれど驚くことは多い。高松では死にたえてしまった映画館がちゃんと生残っていて話題の映画をやっている。ポルノはむしろ目だたない。肉を買うと本物のうすい板につつんでくれることがある。四月の花のさかりに、アパートの近くの小学校のそばを通ると、建物が横板を斜めにしたいかにも校舎らしいもので、昼休どきのカッコワルツが流れ、運動場のすみには真新しいすもう場がしつらえてあった。

かつて自分が小学生だった昭和三十年代にもどる思

いがした。

それから二十数年、物質文化の地方への浸透の代償として、本当の文化をひからびさせてしまった高松にくらべて、富山がいかに大切なものを失わずにいるかをまざまざと見せつけられるようだった。

それゆえにこそ富山における大学の充実ぶり、ことに人文学部の存在もうなずけるように思われる。

これは外交辞令でも皮肉でもない。大らかな時間の流れるよい空気ははぐくんだ真の文化、あるいは文化となるべきものに対して、常に緊張していたいと思う。

豊かな環境の富山に来て

経済学部助手 角 森 正 雄

この春、家庭教師と奨学金による「健康で文化的な最低限度」の大学院生活から開放されて、心置きなく欲しい本が買え、時間も十分という現在の私にとって、富山の印象が悪かろうはざありません。そのうえ、広大な平野と眼前にそびえる立山連峰は、広島の狭い土地に、互いに顔をつき合わせながら生まれ育った者には、限らない可能性と自由の地の象徴のように思えます。

私の専攻する民事訴訟法では、ここ数年来、環境訴

訟に関する研究が、学界のひとつのブームとなっています。この富山は、五大公害裁判の中で最初に原告勝訴判決が下された、「富山イタイタイ病裁判」の地ですし、また、都会と異なって、まだ守られるべき貴重な「環境」を多く有しているようです。そのような富山の大学で、美しい立山を研究室の窓から眺めながら、環境保護のための訴訟法を考えることができる私は幸せですし、また少しでもお役に立てばと思い努力する次第です。よろしくお願いします。

新任の挨拶

理学部教授 杉 田 吉 充

このたび縁あって全く初めての土地富山で、職業として初めての教職につくことになりました。赴任以来ほゞ3ヶ月を経過しましたが、まだ板につかず暗中摸索といった状態ではないかと思っております。

技術革新の最も激しいエレクトロニクス産業の研究開発の渦中に長い間身を置いて私なりに学んだことは、逆説的ではありますが、執着ということでした。日常余りにも表面的な事象に追われ、現象の深奥に横たわる真実を見失ないがちになっていることに対する反省の意味も含まれております。住み慣れた土地と慣れ親

しんだ職場にも愛着が生じるのは自然な感情です。しかししらずしらずの裡に自分の作った殻の中に閉じこもりがちになってしまうのが人間の弱点でもあります。執着は常に力であるが、執着は終に死であります。

新しい実験室の整備に、それから研究室全体をもりあげ、仕事の面で新しい方向が展開するよう努めたいと考えております。そしてまたふりかえてみて、富山の地が離れ難い愛着を感じるようになることを願っております。

新任の挨拶

理学部助教授 関 口 健

住み慣れた土地をはなれることは、淋しいものである。富山大学への転勤が決まった時、青葉山からみお

ろす仙台の街並がとても身近に感じられ、広瀬川は感傷を誘ったものです。過ぎ去った仙台の十数年を思い

返せば、私の入学の頃、東北大学は移転問題に揺れ動いていました。数学の研究を志し、大学院に進んだころは、混乱の中にも夢があった70年安保の最中でした。良き師と仲間にも恵まれたこともあって、曲りなりにも研究を続けることが出来、大学に職を得たことは全く幸運でした。昨年3月に数学教室の移転も完了し、それが東北大学の移転計画の終わりでもありました。

そうした時の流れの中であって、私の研究は、ともすればマンネリズムに落ち込みがちの昨今でした。

そうした時、今度の富山大学への転任は、私にとって、新鮮さを与えてくれるに違いありません。今呉羽丘陵に立って立山連峰を迎え見、あるいは富山湾越しに能登半島を望みながら思います。初心に帰って、研究、教育にとりくもうと。

雪と氷の研究

理学部助教授 對馬勝年

雪氷学講座はわが国における最初の講座であり、それが雪氷関係の研究部門をもつ北大・名古屋大・新潟大等に先がけてここ富山大に設置されたことは大変意義あるものと思います。これも中川教授、川田助手の雪氷とくにナダレに対する永年の研究実績と物理学科並びに先輩諸兄のご努力のたまものと感謝いたします。その上、新しい低温実験室までご用意いただき、この上は当講座のためできる限りの努力をいたす所存であります。

雪氷学はあらゆる形態の雪と氷を扱う学問と定義されています。例えば、河川の氷、湖の氷、海の氷、上空の氷（雪）、平地や山岳に積った雪、南極やグリーンランドのような大氷冠、山岳の氷河、地中の氷（凍土）、植物・生体の凍結、人工の氷、さらに地球外の惑星の氷などの物理・化学的性質、生理・医学的性質が研究の対象となります。雪と氷の研究はまた高温現象、過

冷却現象、相転移という末開部の多い学問とも密接な関係があります。手法もX線、電子顕微鏡、アイソトープなどを使ったミクロな物性から氷河、氷冠、衛星を使ったりリモートセンシング、宇宙の巨視的なものまで広範囲にわたっております。その研究者も理学、工学、農学、医学などにまたがり、雪氷学は雪と氷に関する学際的な分野の学問と言われております。

しかし、一研究者にできるのはそのうちの極めて小部分にすぎません。小生は、雪と氷の力学的性質、雪の変態、ナダレ、雪の効果的利用などを主なテーマとしてとり上げてゆきたいと考えています。スキー・スケート・スキーワックスの摩擦機構はここ数年取り上げてきた課題ですし、雪の利用の一環として目下、熱電発電に取り組んでいます。将来、効果的な雪利用が実現すれば雪氷産業の誕生が期待されます。

御挨拶と抱負

理学部助手 中川邦明

富山に赴任してきてから、はや3ヵ月が過ぎようとしています。社会人としての初めての、しかも全く新しい土地での生活にどうやら慣れることができたのも皆様のお力添えのお蔭と感謝しています。また小生の大学院時代のテーマと密接に関係していながら未経験の分野であったマイクロ波分光を研究テーマとすることができて幸運に思っております。学生時代は、いつも時間に追われがちであったと反省している一方、今後はじっくり腰を据えて実験したり考えたりできると期待しています。

十何年ぶりかで余裕のできた心で身の回りを見廻すと、例えば道端の雑草に足を止めては摘み帰り名前を

調べたり、何故こんな所に製鉄会社があるのだろうと考えたり、そんな子供っぽい好奇心がいろいろ湧きかえってくるのを感じます。そういう「雑念」が事あるごとに湧いてくるので、なかなか「腰を据える」こともままならないのですが、両者を適当なバランスに保つのが小生の今後の課題だと思っています。ただ学生時代と違って周囲に同年代で自由に物の言いあえる人が少ないので、ともすれば独りよがりになるのではないかと心配しています。そんな時、諸先生方の御教導を期待しております。

新任の弁

理学部助手 酒井英男

大阪での9年間の学生生活を終え、4月から地元の富山大学で勤めさせてもらっています。蜃気楼で名の知れた魚津で生まれ育った私ですので大学構内で聞く富山の方言に心に安らぎすら覚えます。

私の専攻は、岩石や考古学試料を用いて、過去における地球磁場の変動を調べるという分野なので、野外へ出て試料採集をすることが必須の仕事です。そうした研究の対象として眺める様になった為でしょうか、研究室から見える立山連峰等、生まれながら見慣れて

いるはずの富山の自然なのに何かしら新鮮な印象を受けております。

富山は、魚介類に恵まれています。学生時代、酒のつき出し等にホタルイカが出ると、富山の豊富な海の幸を思い出したものです。一方、地球科学に携わる者にとって山にある岩石類は、研究試料として山の幸であると思えます。これからは、海の幸と共に富山の豊富な山の幸を満喫したいと考えております。

心理学者の心理知らず

教養部助教授 梅村智恵子

山歩きの好きな私には富山はなつかしい土地である。何回、途中下車したことであろうか。しかし、夏場の過客の一人であってみれば、冬のきびしさはもちろん、富山での本当の生活は知らない。

目下、一般教養という名目で心理学を担当している。教養の単位を多く取ったからといって教養のある人と言わないのと同様に、心理学を習ったからといって、人の心のからくりはわかりはしない。「心理学者の心理知らず」とはよく言ったもので、感受性豊かな小説家や苦勞人(?)の話の方がどれほど人心の機微を言い得て妙であるかわからない。そういう意味では心理学にあ

まり期待を持たぬ方がよい。

私はといえば、齢を重ねるごとに惑わぬどころか、日々、これ迷妄の度を加え、人間の弱さ、強さ、やさしさやこわさをかいま見るたびに、人間のふところの深さを感じ、鈍な私は、ますます人間がわからなくなってしまう。そして、だからこそ、面白いのだなあと思ってしまう。この馬鹿さ加減が案外、私の原動力になっているのかもしれない。人間学としての心理学には限界はあると思いつつも、今は言葉の意味について暗中模索しているところである。

富山に来て

教養部講師 鈴木孝志

大風が吹き立山連峰が聳える富山は、自然の中にこそ人間は存するという自明の真理を強烈に再確認させる。この雄大豪放なる自然の中で人間の営みは謙虚さを失っていない。時間が分刻みで価値を計算されてい

るような生活から離れて、時間がやっと自分の手に戻って来た。

この生活にはこの生活でなければ出来ない仕事がある筈である。ゆっくりとそれととりくんでみたい。

「拝啓 ○○の候」

教養部講師 濱口脩

やっと、転勤の挨拶状の発送を終えた。「拝啓 町のどこからでも望むことのできる白銀の立山連峰は、ことに夕映えに輝くとき、見る者の目を魅了します……」

私の頭には、出来合いの文句だけは避けようという気が強くあった。例えば、「拝啓 ○○の候皆様には益々御清栄のことと御慶び申し上げます」という書き出

しは、どこから見ても非の打ち所がなく、よく使われている。しかし、これ程、陳腐で個性に欠け、従って出す側の温かみが伝わってこない文もない。大体、もらっても嬉しくないであろう。(被害妄想気味の私などは、「また、寄附か何かを催促してきたのじゃないかしらん」と余計な邪推をして、先を読む意欲を失ってしまうかも)。そんなことだけはイヤだと、無い智恵を絞った結果が、悲しいかな、先程の文である。こんな筈ではなかったのに……

考えてみれば、これは単なる形式的な挨拶状、しかも、たかだかその枕詞ではないか。人間すべからくもっと素直になって、「拝啓 ○○の候」にすべきだったのだ。

夕方、帰宅してみると葉書が一通きていた。今春某大学に赴任したS君からの挨拶状であった。冒頭を見て、私は思わずニヤリとした。彼も素直ではなかったのである。「拝啓」すらなかった。

Über allen Gipfeln / Ist Ruh,

教養部助教授 駒 城 鎮 一

教養部三階の法学研究室に初めて案内されたとき、窓から山が見えるかどうかを私は尋ねた。生憎その日は曇天で何も見えなかったが、「ちょっと本部の建物にさえぎられますが見えます」という返事がかえってきた。そのことばの通り、晴天になった翌日の研究室の窓からは大学本部の彼方に薬師岳が、そしてその左方に立山、続いて剣岳の鋭峰が三ノ窓、小窓、大窓の順に切れこんでいるのが望見された。富山大に赴任が決まったとき、研究室の窓から立山連峰の見えることを期待していた私は、望みが叶えられて小一時間も飽きもせず眺め入ってしまった。

いまはむかし、高岡高校へ入学したての頃、「山々の頂きに憩いあり——ゲーテ——」という詩句にひかれ

て山岳部に入った。そして歓迎登山と称して5月の連休を利用して一部は授業もさぼり、上市——伊折——馬場島と強行軍させられ、白萩川を遡行して剣の大窓登攀をしたのが30年も昔のことだが、それが昨日のことのようによみがえってくる。Über allen Gipfeln / Ist Ruh, はゲーテの Wanders Nachtlied の最初の二行であるが、私は6月の陽光の中にきらきら光っている真昼の山々の頂きを見ている。Warte nur, balde / Ruhest du auch. とゲーテは詩句を結んでいるが、それは今の私にはふさわしくないように思える。Über allen Gipfeln / Ist Wahrheitこそ、いまの私にはふさわしいように思う。

新任ご挨拶

トリチウム科学センター教授 渡 辺 国 昭

新設のトリチウム科学センターに5月1日付で着任いたしました。富山市に着いた日は土砂降りでしたが、その翌々日はからりと晴れ上がり、意外な高さで広さでアルプス連峰が眼前に展開し感激いたしました。その日から早くも1ヵ月余がすぎ富山市にもようようなれてきたところです。北陸地方では夏の暑さも冬の寒さもともに厳しいとのことですが、私の生まれ育ちは静岡県(三島市)、それ以降は北海道(主として札幌)住いでしたので当地の夏も難なくすごせるものと思っていました。しかしこの1ヵ月余の経験から推し測ると、この夏をのりきるのがなかなかの大仕事になりそうです。幸いにも当地は美酒と様々な海産物にめぐまれていますので、その助けをかりれば夏の暑さも少し

は薄らぐものと思っています。富山大学着任以前は北海道大学工学部に席をおき、触媒化学、表面科学等に関する研究に従事してきましたが、今後は主としてトリチウムと固体表面との相互作用に関する研究を行なう予定です。私の知る限りでは、この方面では未知の点が多く、やりがいのある仕事ができるものと喜んでおります。当センターは現在建設途次で実験を開始できるのは来年度からですが、それまで計画をじっくり練り息の長い仕事をしたいと思っています。とは言え何分経験の浅い者ですので、諸先生はじめ皆様の御助力をお願い申し上げます。

私の学生時代

教育学部助手 丸山茂徳

去る五月に学位を取得した際、大学院の頃のエピソードを題材にということで学園ニュースの編集委員の方からの寄稿のお誘いがあった。学園ニュースの読者層は学生なので学生を意識して書くべきなのだが、教官のメールアドレスには必ずこの小冊子が届けられるので、ニタニタしながら読んでいる教官の顔を意識せずには書きようがない。

2年前にモスクワ及び極北ウラルでオフィオライト（海洋地殻とマントルの岩石）国際会議があってそれに参加する機会が与えられ、私は初めての外国をいろんな意味で満喫した。富山に帰って女房にその時のスライドや思い出を話したのだが彼女は一向に無感動であった。しかしそれは当たり前で、私自身、自分の行ったことのない国の風景を見せられて興味を覚えたことは一度もないのだから女房に感動を強要できる立場にない。でもおかしなもので、一度ロンドンの郊外の風景やサンモリッツの夕暮れを楽しんだりすると、たとえば「松任谷由美のロンドンのアフタヌーンティー絶讃論（週間ポスト〇〇月号）」などを退屈しないで読めるから不思議だ。それは松任谷由美に感動しているのでは全くなくて、自分の思い出を楽しんでいるだけなのだ。私の感覚は一般人全てのそれと全く同じと信じて疑っていないので、私の最近10年間の生活をこれから振り返ることが、研究生活の入口に立ったばかりの学生達にウケるようには思われない。だから、印刷になったこの小冊子を見て私一人、思い出を懐しむことにしよう。

1971年4月、私は徳島大学教育学部で卒業研究を始めた。それは約3億年前にできた古太平洋海洋地殻が四国の山奥にあるかどうかを調べるといった内容のものであった。小学校入学以来大学3年生までずっと受け身の勉強に甘んじてきた私にとってその作業は自動車学校とは違った部分が大学にはあるという証しになった。

金沢大学理学部での2年間は、通算約2か月を下宿で眠っただけで野外調査と実験室で残りの22か月を過ごした。その頃、活字になったものは全て正しいという錯覚を自分が持っていたことに気づき、他人の論文は全て誤っているのではないかという感覚の必要性に気付いた。

名古屋大学理学部での3年間に私はついにコンクリートの上の人になってしまった。疲れて身体と頭が働かなくなったら、研究室の机の下で新聞紙一枚敷いて、その上で暮らした。その3年間は、実験・調査する能力とは別の書く能力に苦しめられた期間でもあった。（勿論、今後も苦しめられ続けるだろう）。夜明前後、とぼとぼと下宿にたまたま帰る道端に漂っていた樹木の強い芳香と喜々としたスズメのさえずりが妙に強く印象として残っている。

以上が私の学生時代のあらましである。私はそのあと富山大学教育学部に赴任した。理科という教科の担う目的として「生徒が生徒自身の手で自然界の中から問題を発見し、解決する実験を工夫し、実験結果から生徒自身が法則性を発見する」ということがある。この思考プロセスは自然科学者のそれと何ら違わない。この目的自体は結構なのであるが、1つの重要な問題は教師の卵である学生側にある。現在の教育制度は小学校から大学3年までは学生にとって受け身にならざるを得ない部分を多く含んでいる。大学4年生のたった1年間で、くしくも理科教育の目的を自分で体験できる（卒論）わずかな時間であることを学生はもっと強く認識すべきではなかろうか。研究したことのない人間が研究プロセスを教えるのは丁度、失恋したことのない人間が、失恋の辛さを解説するのと同じである。大学を卒業したら40年間ずっと、よく似た作業を繰り返すのだから、その直前の大学生活の時間の短さを、もっと深刻に考えてみてはどうだろう。

トリチウムと トリチウム科学センター

トリチウム科学センター長
竹内豊三郎

水素原子には3種の同位体があって、軽水素（プロチウム）、重水素（デュテリウム）、三重水素（トリチウ

化する。また、トリチウムの β 線のエネルギーによって誘発される化学反応の種類や機作もまだわずかしかわかっていない。トリチウムが水の状態になって動物や植物に吸収されたときの各機関に対する影響もまだ明白でないのが現状である。

昭和31年、私達の研究室でトリチウムの弱い β 線の測定が始まり、わが国でのトリチウム研究の歴史の始まりとなった。それ以来トリチウムの反応性、金属へ

の吸着や透過性、トリチウムの捕獲や、濃縮などの研究を進めて来た。もし核融合を新しいエネルギー源として開発しようとするならば、わが国ではまずトリチウムそのものの物理、化学、生物学の領域における基礎的データを集積し、その特性を充分明かにしておくことが安全性の点からも極めて重要である。このような目的と大きな使命を富山大学のトリチウム科学センターは擔っているといえる。

——学部だより——

● 人文学部

—— 日本民族学会第19回研究大会行われる ——

5月17日(土)、18日(日)の両日、日本民族学会第19回研究大会が、教養部を会場に借りて開催された。昭和54年に文化人類学研究室が新設されたことにより富山大学が当番校となったものだが、人文学部をはじめ他学部の先生方の応援を受け、全国から約250名の参加者

を迎え成功に終わった。また、研究発表のほかに公開記念講演会が5月17日に電気ビル、5階大ホールで開かれた。京都大学名誉教授今西錦司博士の「人類の進化」と題する講演が行われ、これには一般市民をふくむ約500名の聴衆が参加した。



● 学 生 部 だ よ り

第32回北陸四大学学生総合体育大会が、金沢大学、北陸四大学学生体育競技連盟の主催で、7月13日(日)を中心に別記会場で開催されます。

競 技 日 程

種 目	期 日	開始時間	競 技 会 場	競 技 方 法 及 び 小 種 目
陸上競技 男・女	7月13日	10:00	金沢市宮陸上競技場	男子(トラック) 100m, 200m, 400m, 800m, 1,500m, 5,000m, 110m H, 400m H, 3,000m S.C., 400m R, 1,600m R (フィールド) 走巾跳, 三段跳, 走高跳, 棒高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投, ハンマー投 女子(トラック) 100m, 200m, 400m, 800m, 100m H, 400m R (フィールド) 走巾跳, 走高跳, 円盤投, 砲丸投, 槍投
野 球 男	7月13日(雨天の場合14日まで順延)	9:00	電電公社野球場	リーグ戦
庭 球 男・女	7月11日, 12日, 13日(雨天の場合は14日まで順延)	〃	石川県兼六園コート 金沢大学小将町コート	団体(リーグ戦) 男子4複7単 女子2複3単
軟式庭球	7月13日(雨天の場合14日まで順延)	〃	石川県兼六園コート	団体(点取りリーグ) 男子5チーム9セット 個人(トーナメント) 男子15チーム以内9セット 女子3チーム9セット 女子10チーム以内9セット
卓 球	7月13日	10:00	金沢大学附属小・中学校体育館	団体(リーグ戦) 男子4複7単 個人トーナメント(シングルスのみ) 男子20名以内 女子2複5単 女子12名以内
バドミントン	7月12日, 7月13日	10:00 9:00	金沢大学小立野体育館	団体(点取りリーグ) 男子3複4単 個人(トーナメント) シングルス男子12名以内女子10名以内 女子2複3単 ダブルス男子6組以内女子5組以内
バレーボール	7月13日	10:00	石川県体育館	トーナメント戦 3位決定戦 3セット
サ ッ カ ー 男	6月29日, 7月12日, 7月13日	〃	金沢大学城内グラウンド	リーグ戦
ラグビーフットボール	6月29日, 7月6日, 7月13日	14:00	〃	リーグ戦(未決定のときは引分け)(35-5-35)
剣 道 男・女	7月13日	9:00	石川県立武道館剣道場	団体(点取りリーグ) 男子11名以内(登録は15名以内) 個人(トーナメント) 男子10名以内 女子5名以内(登録は7名以内) 女子5名以内
柔 道 男	7月6日	10:00	金沢大学小体育館	団体(点取りトーナメント) 3位決定戦 13名 個人(トーナメント) 6名以内
バスケットボール 男・女	7月13日	〃	石川県体育館	トーナメント戦 3位決定戦
水 泳	〃	9:00	松任若宮健民プール	男子 自由形 100m, 200m, 400m, 800m 女子 自由形 100m, 200m, 400m 背泳 100m, 200m 背泳 100m, 200m 平泳 100m, 200m 平泳 100m, 200m バタフライ 100m, 200m バタフライ 50m, 100m メドレーリレー 400m メドレーリレー 400m リレー 200m, 800m リレー 200m, 400m 個人メドレー 200m 個人メドレー 200m
ヨ ッ ト	7月12日, 13日	〃	七 尾 湾	総合と種目別(スナイプ, 470級) スナイプ級 2艇制, 470級 3艇制
準硬式野球 男	7月13日(雨天の場合14日まで順延)	〃	金沢大学野球場	トーナメント戦 3位決定戦
ハンドボール	7月13日	10:00	金沢美術工芸大学体育館	トーナメント戦 3位決定戦
空 手 道	〃	〃	金沢大学小体育館	団体 自由組手(5組)リーグ戦 個人 自由組手各校4名以内2分1本勝負(引分けの時2分延長後判定) トーナメント戦
弓 道 男・女	〃	9:00	石川県立武道館弓道場	団体 男子8名(1人20射 計160射) 四ツ矢5回 個人 団体戦出場者および男女8名 女子4名(1人20射 計80射) (20射中的中数の多い者)
体 操	〃	10:00	金沢大学大体育館	男子 床運動, 鞍馬, 平行棒, 吊輪, 跳馬, 鉄棒 女子 床運動, 段違平行棒, 平均台, 跳馬
自 動 車	〃	7:00	北鉄自動車学校	(1) 軽四輪(550cc以下) (2) 小型トラック(ナンバー キャブオーバータイプ) 団体 各種目に2名 (3) 小型乗用車 個人 各種目出場者2名以内 (4) 普通乗用車
創作舞踊 男・女	7月12日	14:00	金沢大学学生会館 大ホール	公開演技
小林寺拳法 男	〃	13:00	金沢大学大体育館	公開演武(団体演武, 組演武, 個人乱捕リーグ戦)
合 気 道 男・女	〃	〃	金沢大学小体育館	公開演武, 組演武

昭和55年度富山大学都道府県別入学者数調

昭和55年5月1日現在

都道府県	学部	人 文	教 育	経 済	理	工	計 (%)
北海道		4		2			6 (0.5)
青森							
岩手							
宮城							
秋田							
山形		1					1 (0.1)
福島		2				1	3 (0.3)
茨城					2	1	3 (0.3)
栃木							
群馬				2	2	1	5 (0.4)
埼玉				1		1	2 (0.2)
千葉				1	1		2 (0.2)
東京都				2	6	1	9 (0.8)
神奈川県		1		1	2		4 (0.3)
新潟		2		1	7	2	12 (1.0)
富山		102	199	150	68	142	661 (55.8)
石川		24	30	39	30	63	186 (15.7)
福井		5	4	22	9	8	48 (4.1)
山梨				2	2		4 (0.3)
長野		3		2	5	3	13 (1.1)
岐阜		5	2	19	11	30	67 (5.7)
静岡		2		1		4	7 (0.6)
愛知		4	1	30	15	19	69 (5.8)
三重				4	2		6 (0.5)
滋賀		2	2	5	3	7	19 (1.6)
京都		1			1		2 (0.2)
大阪				4	7	15	26 (2.2)
兵庫				6	1	4	11 (0.9)
奈良		1		1	2	1	5 (0.4)
和歌山					1		1 (0.1)
鳥取							
島根					1		1 (0.1)
岡山				3			3 (0.3)
広島			1	1			2 (0.2)
山口		1					1 (0.1)
徳島							
香川							
愛媛						1	1 (0.1)
高知							
福岡					1		1 (0.1)
佐賀				1	1		2 (0.2)
長崎							
熊本							
大分							
宮崎			1				1 (0.1)
鹿児島							
沖縄						1	1 (0.1)
計		160	240	300	180	305	1185

昭和54年度 卒業生進路(就職)状況

昭和55年5月1日現在

学部	学科 課程	項目 性別		卒業者数		就職希望者数		就職不希望者数		就職者数		未就職者数		就職率(%)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
文理学部	文学科	32	48	24	43	8	5	23	41	1	2	96	95		
	理学科	91	39	65	34	26	5	57	28	8	6	88	82		
	計	123	87	89	77	34	10	80	69	9	8	90	90		
教育学部	小学校教員養成課程	20	117	20	116	0	1	18	108	2	8	90	93		
	中学校教員養成課程	15	29	14	29	1	0	14	24	0	5	100	83		
	養護学校教員養成課程	3	19	3	19	0	0	2	18	1	1	67	95		
	幼稚園教員養成課程	0	26	0	26	0	0	0	25	0	1	/	96		
	計	38	191	37	190	1	1	34	175	3	15	92	92		
経済学部	経済学科	106	1	99	0	7	1	99	0	0	0	100	100		
	経営学科	107	5	102	5	5	0	102	5	0	0	100	100		
	計	213	6	201	5	12	1	201	5	0	0	100	100		
工学部	電気工学科	48	0	45	0	3	0	45	0	0	0	100	/		
	工業化学科	36	2	28	2	8	0	28	2	0	0	100	100		
	金属工学科	31	0	24	0	7	0	24	0	0	0	100	/		
	機械工学科	46	0	43	0	3	0	43	0	0	0	100	/		
	生産機械工学科	46	0	45	0	1	0	45	0	0	0	100	/		
	化学工学科	31	1	25	1	6	0	25	1	0	0	100	100		
	電子工学科	34	1	29	1	5	0	29	1	0	0	100	100		
	計	272	4	239	4	33	0	239	4	0	0	100	100		
合計		646	288	566	276	80	12	554	253	12	23	98	90		

産 業 別 就 職 状 況

昭和55年5月1日現在

産業別		学部			文理学部			教育学部			経済学部			工学部			合計		
		性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
第一 二次 産業	建設業		0	1	1	0	0	0	9	0	9	6	0	6	15	1	16		
	製 造 業	食料品・たばこ製造業		0	1	1	0	0	0	3	0	3	2	0	2	5	1	6	
		繊維工業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	9	0	9	
		衣類・その他の繊維製品		0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	4	0	4	
		出版・印刷同関連産業		0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	4	0	4	
		化学工業		6	7	13	0	0	0	9	0	9	17	1	18	32	8	40	
		鉄鋼業		0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	4	5	0	5	
		非鉄金属製造業		1	0	1	0	0	0	2	0	2	11	0	11	14	0	14	
		金属製品製造業		0	1	1	0	0	0	7	0	7	19	0	19	26	1	27	
		一般機械器具		0	0	0	0	0	0	7	0	7	27	0	27	34	0	34	
		電気機械器具		2	3	5	0	0	0	9	0	9	41	1	42	52	4	56	
		輸送用機械器具		0	3	3	0	0	0	5	0	5	13	0	13	18	3	21	
		精密機械器具		1	1	2	0	0	0	0	0	0	5	0	5	6	1	7	
		その他の製造業		0	0	0	2	5	7	6	1	7	20	1	21	28	7	35	
計		10	17	27	2	5	7	66	1	67	174	3	177	252	26	278			
第三 次 産業	卸 売 業	卸売業		6	3	9	0	0	0	10	0	10	10	0	10	26	3	29	
		小売業		5	2	7	0	0	0	13	1	14	4	0	4	22	3	25	
	金 融 業	銀行・信託業		0	0	0	0	0	0	32	0	32	0	0	0	32	0	32	
		証券業・商品取引業		1	2	3	0	0	0	5	0	5	0	0	0	6	2	8	
		保険業		0	0	0	0	0	0	12	0	12	1	0	1	13	0	13	
	運 輸 業	運輸業		4	0	4	0	0	0	3	1	4	4	0	4	11	1	12	
		通信業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	サ ー ビ ス 業	電気・ガス・水道業		0	0	0	0	0	0	4	0	4	9	0	9	13	0	13	
		医療保険業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		法務		0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		教 育		32	29	61	32	157	189	0	0	0	1	1	2	65	187	252	
		非営利的団体		2	0	2	0	0	0	5	0	5	2	0	2	9	0	9	
		その他のサービス業		15	9	24	0	0	0	14	1	15	7	0	7	36	10	46	
	公 務	国家事務		0	5	5	0	0	0	8	1	9	5	0	5	13	6	19	
地方事務			4	1	5	0	9	9	16	0	16	14	0	14	34	10	44		
計		69	54	123	32	166	198	134	4	138	57	1	58	292	223	515			
上記以外のもの			1	0	1	0	4	4	1	0	1	8	0	8	10	4	14		
合計			80	69	149	34	175	209	201	5	206	239	4	243	554	253	807		

学生教育研究災害傷害保険の一部改正について

「学生教育研究災害傷害保険」は、昭和51年度から、学生の教育研究災害に対する補償制度として発足したもので、従来、大学の「正課中の災害事故」を主として担保範囲としてきたものですが、今回の改正により、一定の条件が満たされた場合には「課外活動の事故」についても、あらたに担保範囲として加えられることになりました。

I. 改善の時期

本年5月1日以後発生した傷害に対し、適用されます。

II. 改善の主な内容

- (1) 「正課中」の範囲の拡大
- (2) 「学校主催行事中」の範囲の拡大
- (3) 「キャンパス内の課外活動中」 課外活動とは、大学の規則又はこれに準ずるものに則った所定の手続きにより、大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動及び体育活動をいう——と定義付けられていますので、本学の場合

は、富山大学学生守則によって団体結成届を提出することになっていきますから、未提出の団体等は、これを機に所定の手続きを終えてください。

III. 支払保険金の種類等

担保範囲 保険金の種類	正 課 中 学校主催の行事中	キャンパス内の 課外活動中
死 亡	1,200万円	200万円
後 遺 障 害	54万円～ 1,800万円	9万円～ 300万円
医 療	4日以上の治療事故に 6,000円～30万円	1ヵ月以上の治療事故に 5万円～30万円
入院(日額)	4,000円	4,000円

(注) 課外活動中の事故については、治療1ヵ月未満のものは対象になっていません。

※ その他、この保険に関する詳細については、別に配布される「学生教育研究災害傷害保険のしおり」を参照してください。

◆学園ニュース編集委員

学生部長	教 授	岩 淵 富 治
人文学部	〃	山 口 博
教育学部	〃	大 塚 恵 一
経済学部	〃	棚 田 良 平
理学部	〃	松 本 賢 一
工学部	〃	市 村 昭 二
教養部	〃	奥 貫 晴 弘